

お知らせ

私たちは、現在、愛媛大学医学部附属病院の外来化学療法室および薬剤部製剤室において、抗がん剤の調製過程で発生する可能性がある不溶性粒子の実態調査を行っています。

この調査は、抗がん剤調製過程における不溶性粒子の発生原因やその手順を調査し、薬液の中に不溶性粒子が混入しないように改善を図っていくことを目的に行っています。調査は患者さんの受診やお体に影響のない形で実施いたしますので、ご安心ください。なお、薬液の中に不溶性粒子が発見された場合には直ちに除去し、再調製なども含めて安全な状態で提供しますのでご安心ください。

この研究の内容を詳しく知りたい方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

愛媛県がん診療連携拠点病院における抗がん剤調製時の不溶性粒子発生状況に関する多施設共同実態調査

【調査期間】

2018年11月1日～2019年1月31日

【調査場所】

愛媛大学医学部附属病院 外来化学療法室および薬剤部(製剤室)

【調査方法】

抗がん剤の調製過程において、薬液中に不溶性粒子が認められた場合に、その抗がん剤の種類、調製に使用した器具、不溶性粒子が発見された場所(注射器の中、輸液バックの中など)を調査します。

【研究に関する問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院臨床腫瘍センター・緩和ケアセンター

愛媛県がん診療連携協議会 がん集学的治療部会

研究代表者・責任者 薬師神芳洋

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5969

愛媛大学医学部附属病院薬剤部 濟川聡美

Tel: 089-960-5746